

道路関係施策の当面の検討課題（主なもの）

資料 1

施策名	当面の検討課題
メンテナンス	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 巡目の点検結果や維持管理・更新費の推計結果等を踏まえ、具体的な修繕の進め方や地方支援のあり方
交通安全対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 園児の移動経路等の交通安全緊急点検を踏まえた道路交通安全環境整備 ・ ICT・ビッグデータ等革新的技術を活用した科学的・効果的な事故対策
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自転車活用推進計画（H30.6）を踏まえた自転車利用環境の整備
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前回法改正（H28.3）を踏まえた踏切対策の更なる推進
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高速道路における安全・安心計画（仮称）の策定
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特定道路の追加指定を踏まえた更なるユニバーサルデザイン化の推進
防災・減災	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 30 年 7 月豪雨等での災害を踏まえ、道路を守る土砂災害対策を推進するための新たな仕組み
無電柱化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 緊急輸送道路における新設電柱の占用禁止拡大と既設電柱の占用制限の検討 ・ 無電柱化のスピードアップと低コスト手法の普及拡大
交通マネジメント	<ul style="list-style-type: none"> ・ ICT を活用した新たな道路調査体系の構築 ・ ネットワークを賢く使う料金施策の導入 ・ 大規模施設の立地者への交通アセスメントの強化
重要物流道路・新広域道路交通計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広域的な道路交通のあり方の検討、新たな広域道路交通ビジョン・計画の策定
自動運転	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中山間地域における道の駅等を拠点とした自動運転サービスの社会実装 ・ 新東名等におけるトラック隊列走行の実現 ・ 自動運転に対応した新たな道路仕様等に関する制度整備
交通結節点	<ul style="list-style-type: none"> ・ バスタプロジェクトの全国展開に向けた民間ノウハウを活用した新たな事業スキーム、防災などの公益機能の強化、新たなモビリティとの連携等
賑わい空間	<ul style="list-style-type: none"> ・ 賑わい空間など人中心の道路空間構築のための、新たな道路仕様等に関する制度整備
道案内	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2020 年オリパラに向けた高速道路ナンバリングの概成など、わかりやすい道案内の推進

↑
 今回ご審議
 いただく範囲
 ↓

⇒上記の施策を中心に、今後夏～秋にかけて「基本政策部会」にてご審議いただく予定。
 部会でのご意見も踏まえ、更なる検討や部会審議、制度改正等への反映を実施。

社会資本整備審議会 道路分科会 建議(平成29年8月22日) 「IV道路施策の具体的提案」(抜粋)

IV道路施策の具体的提案

1.メンテナンスのセカンドステージへ

- 予防保全を前提としたメンテナンスの計画的な実施
- 過積載撲滅に向けた取組の強化
- 適正な予算等の確保
- 新技術の導入等による長寿命化・コスト縮減
- 集約化・撤去による管理施設数の削減
- 地方への国による技術支援の充実

2.総合的な交通安全対策の実施

- 生活道路の交通安全対策
- 自転車利用環境の整備
- 踏切対策の推進
- 高速道路の安全・安心に係る賢い取組
- ユニバーサルデザイン化の推進

4.円滑なモビリティの確保のために

- ICTやAI等をフル活用した交通マネジメント強化
- 交通流を最適化する料金・課金施策の導入
- 大規模商業施設等の対策の強化
- トラック・バスなど道路利用者との連携強化

8.ニーズに応じた道路空間の利活用

- 道路空間の利活用の更なる高度化
- 多様なニーズに対応した道路空間の再構築
- 民間団体等との連携による価値・魅力の向上

賑わい空間

3.災害に強い安全性・信頼性の高い道路へ

- 大規模災害への対応
- 集中豪雨や大雪への対策強化
- 無電柱化の推進
- 占用物件の適切な維持管理

5.戦略的な人と物の流れの確保

- 平常時・災害時を問わない安定的な輸送の確保
- トラック輸送のイノベーションの促進
- 高速道路の幹線物流プラットフォームの構築
- ラストマイルの人と物の流れの確保

自動運転に対応した道路空間

6.モーダルコネク(交通モード間連携)の強化

- 交通・物流拠点とネットワークのアクセス強化
- バスタプロジェクトの推進
- 主要鉄道駅など広域交通拠点の利便性向上
- モード間の情報接続の強化とシェアリングとの連携

バスタプロジェクト

7.地域における産学民官の新たな連携へ

- 官民連携による都市空間の再編
- 道路のストック効果を高めるための地域・民間との連携
- 道の駅や高速道路の休憩施設等の活用促進
- すべての人にわかりやすい道案内の実現
- ICT・ビッグデータを利活用した地域道路経済戦略の推進

9.「観光先進国」の実現に向けて

- 観光地への円滑なアクセスの実現
- 安全で快適な観光地の形成
- 旅行者にわかりやすい道案内の推進

 : 今回ご審議いただく範囲